



株式会社JR中央ラインモール

サステナビリティレポート

2020

Sustainability
Report



目次

ページ

- [01](#) 会社沿革/会社概要
- [02](#) 会社設立の背景/nonowa とは/会社方針
- [03](#) トップメッセージ
- [04](#) JR 中央ラインモールのサステナビリティ
- [05](#) 社会 ～社会とのかかわりについて～
- [10](#) 環境 ～環境経営の基本的な考え方～
- [14](#) 安全 ～安全への取り組み～
- [16](#) ガバナンス

編集方針

本報告書は、株式会社JR中央ラインモールの事業活動について報告することを目的としています。

「より多くの方々によりわかりやすく」をコンセプトに、図表や写真を多用し、可能な限り用語の補足説明なども行っています。

実施している施策の内容については、測定結果や達成率などの客観的データも含めて紹介しています。

報告対象期間

データは 2019 年度の実績です。

活動内容には、2018 年度以前からのものまたは 2020 年度に入ってからのもが含まれています。

会社沿革

| | | |
|-------|-----|---|
| 2010年 | 12月 | 会社設立 |
| 2012年 | 9月 | nonowa 西国分寺 開業 |
| 2013年 | 4月 | 武蔵境駅 駅業務 受託開始 |
| | 5月 | nonowa 武蔵境 WEST 開業 |
| 2014年 | 1月 | nonowa 東小金井 EAST・WEST 開業 |
| | 4月 | nonowa 武蔵境駅間 順次開業 nonowa 東小金井駅間 順次開業 |
| | 5月 | 国立駅 駅業務 受託開始 |
| 2015年 | 2月 | nonowa 武蔵小金井 EAST 開業 |
| | 4月 | 東小金井駅 駅業務 受託開始 nonowa 国立 EAST 開業 |
| | 12月 | nonowa 武蔵小金井 WEST 開業 |
| 2016年 | 4月 | nonowa 国立駅間 順次開業 nonowa 国立 WEST 開業 |
| | 6月 | nonowa 武蔵境 EAST 開業 |
| 2017年 | 12月 | nonowa 武蔵小金井 SOUTH 開業 |
| | 4月 | 武蔵境ぼっぼ公園 開業 |
| 2018年 | 9月 | PO-TO 開業 |
| | 4月 | ムサコガーデン 開業 プログラボ教育事業 運営開始 |
| 2019年 | 9月 | nonowa 西国分寺リニューアル 開業 |
| | 4月 | ワークショップ nonowa ラボ開始 |
| 2020年 | 3月 | 高架下賃貸住宅「Chuo Line House KOGANEI」開業 |

会社概要

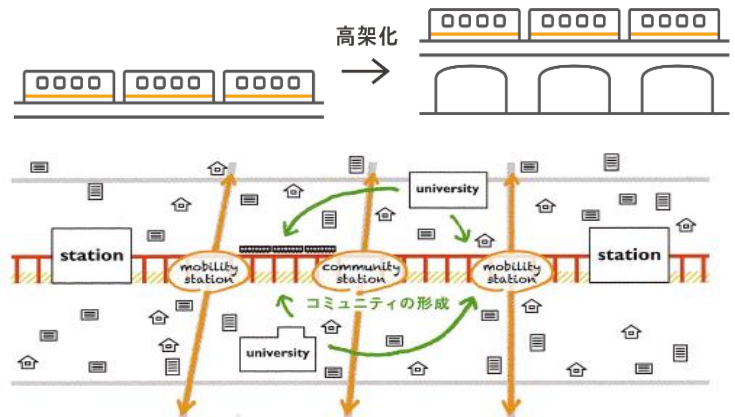
| | |
|-------------|--|
| 社名 | 株式会社JR中央ラインモール (JR Chuo Line Mall Co.,Ltd.) |
| 所在地 | 東京都小金井市本町 1-18-10 |
| 設立 | 2010年12月1日 |
| 資本金 | 12億3,000万円 (東日本旅客鉄道株式会社 100%出資) |
| 事業内容 | 商業施設等の企画・運営・開発 駅業務受託・ロボットプログラミング教室 |
| 社員数 | 94名(2020年4月1日現在) |



会社設立の背景

線路による街の南北分断、踏切待ちによる交通渋滞の解消を目的に、中央線連続立体交差事業が実施されました。2010年に工事が完了し、その結果、高架下に9km、7万㎡の空間が誕生しました。

当社はその空間を統一したコンセプトで一体的に開発し、地域との連携を深め、「街の賑わい」をプロデュースすることを通じ、中央線の沿線価値を総合的に向上させることを目的に設立されました。



nonowa とは

豊かな自然や個性豊かな文化と駅・街とをつなぐ「武蔵野のわ『輪・和』になりたい」という願いをこめて「緑×人×街つながる『nonowa(ののわ)』」と名付けました。緑と文化の溢れる中央線沿線に生まれた高架下空間において人と人、人と街、街と街、過去から未来へ「つながる社会」を創り、心豊かな暮らしの実現を目指しています。

※ロゴマークは武蔵野の土・水・緑の輪が重なる「nonowa」のハートを表現しています。



会社方針

🌿 企業理念

私たちは、地域に根差した存在として、中央線の沿線価値を総合的に向上します。

🌿 ビジョン

使命感を持った挑戦

会社の使命に誇りを持ち、安全安心の追求、サービス品質の向上に向けて、常に挑戦します。

お客さま視点と地域視点

お客さま・地域の皆さまに寄り添う存在として、接点を大切にします。

多様な力の活用

地域プレイヤーやビジネスパートナーと連携し、多様性を活かして新しい価値を創造します。

未来に向けた革新

既存の概念にとらわれず、新しい仕組みや手法を追求し、社員の力を活かして、次世代に向けて革新し続けます。



トップメッセージ

当社は、2010年12月1日に設立されましたので、今年ちょうど設立10年目にあたります。これまでの間、「私たちは、地域に根差した存在として、中央線の沿線価値を向上します。」との企業理念のもと、地域と様々な連携をさせていただきながら、駅の運営、商業施設 nonowa の開発・運営、高架下の多様な開発、地域イベントの開催、ロボットプログラミング教室の運営等を行ってまいりました。

近年 SDGs が注目されていますが、当社でも、昨年から環境報告書をサステナビリティレポートと改め、その内容を大幅に拡充したところです。今年、さらに充実させるとともに、SDGs で2030年に達成すべきとされる17ゴールとの関係も記載しました。

当社の事業エリアは限定されているものの、このエリアで抱える社会課題は幅広いものがあります。「地域に根差した存在」として、お客さま、地域の皆さま、自治体さま、ショップスタッフの皆さま、取引先さま、社員等の様々なステークホルダーが持つ社会的ニーズにしっかりと対応するとともに、その解決を図るなかで、新しい社会価値も創造してまいります。



株式会社JR中央ラインモール
代表取締役社長 石井 圭

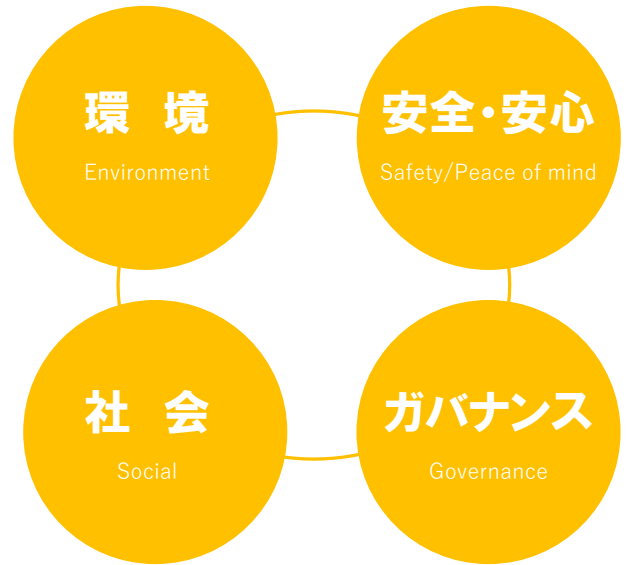




JR 中央ラインモールのサステナビリティ

私たち JR 中央ラインモールは、ESG（Environment / 環境・Society / 社会・Governance / ガバナンス）の問題解決と、「安全・安心」の追求をサステナビリティの4つの柱に位置付けています。

事業活動を通じ、地域の皆さまをはじめとするステークホルダーに貢献し、地域に根差す存在として持続的に発展・成長していくことを目指していきます。



ESG の問題解決は、ガイドライン「SDGs（※）」に沿って、進めています。



※SDGs（Sustainable Development Goals）：2015年9月の国連サミットで、国際社会が2030年までに貧困を撲滅し、持続可能な社会を実現するための重要な指針として、17の持続可能な開発目標（ゴール）が採択されました。



社 会

5 ジェンダー平等を
実現しよう

8 働きがいも
経済成長も

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう

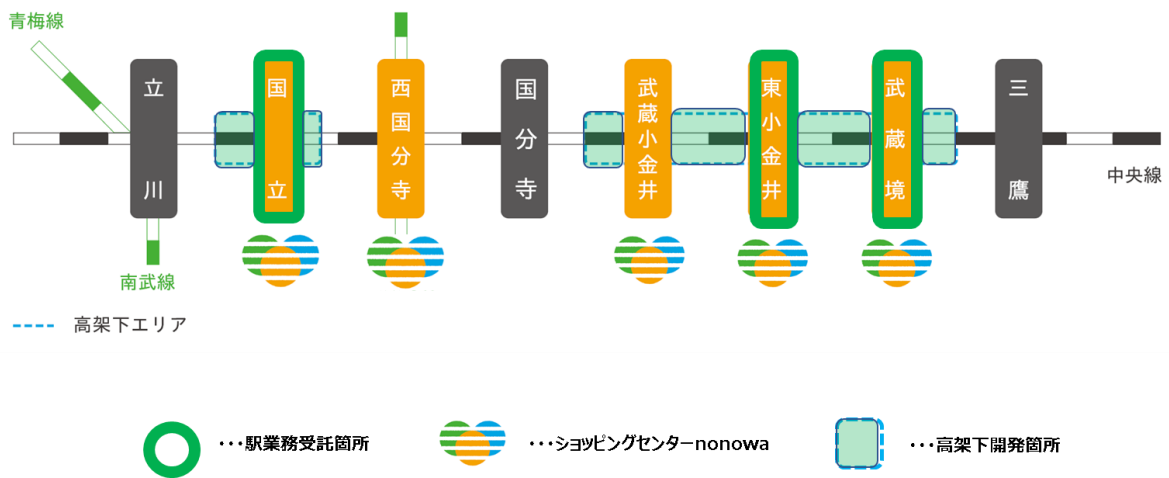
10 人や国の不平等
をなくそう

11 住み続けられる
まちづくりを

① 社会とのかかわりについて

当社が社会の一員として持続的な成長を遂げるためには、地域においてより堅固な信頼関係を構築し、当社への信頼感を高めていくことが不可欠です。当社は新規開発、既存店の活性化や新規事業の開拓を通して地域の魅力を育て上げる活動をさらに推進します。また、地域を元気にする取組み、沿線情報の発信などを通して地域との連携を強化するとともに、さらなる賑わいを創り出すことで、集客力アップを図り、地域の拠点、まちの顔としての駅商業施設を磨き上げ、中央線の沿線価値の向上に一層貢献していきます。

【事業エリア】



【nonowa 武蔵境】



【nonowa 東小金井】



【nonowa 武蔵小金井】



【nonowa 西国分寺】



【nonowa 国立】



【プログラボ】



※直営の子ども向けプログラミング教室

【駅間高架下の施設】



※サカイ西エリア



※モビリティステーション



② 地域の賑わいの創出

当社は地域のパートナーとともに地域の魅力を掘り起こし、常に新しい視点で地域の賑わいを創り出してきました。

【中央線コーヒーフェスティバル】



中央線沿線を中心に延べ25店舗が出店しました。淹れたてのおいしいコーヒーを楽しんでいただけました。

【中央線ビールフェスティバル】



中央線沿線の醸造所が武蔵境に集結しました。個性あふれるクラフトビールにライブもあり大盛況でした。

【中央線パンまつり】



中央線沿線のパン事業者や雑貨の店など延べ40店舗が国立に出店。普段足を運ぶことのできないお店が一堂に集まり、大好評でした。

【こどもいっぴんいち】



こどもたちが売れると思う自信の品を作り値段を決めることもマルシェです。家族連れに楽しんでいただけました。

【アートピュッフェくにたち】



アクセサリーやテキスタイル雑貨など作家さんの個性あふれるクラフト作品を楽しめるイベントでした。

【高架下シネマ】



夜の高架下での野外シネマ。多くの家族連れに楽しんでいただけました。

③ 地域とともにあゆむ

～家族の文化祭と東小金井駅ファミリーイベント～

東小金井駅東側高架下の交流拠点「コミュニティステーション東小金井」では、年に3回「家族の文化祭」を実施しており、飲食店や雑貨店、音楽ライブ、ワークショップなどを開催し、地域プレイヤーとともに賑わいを創り出してきました。東小金井駅でもイベント開催時期にあわせ、近隣の大学によるワークショップやジャズ演奏、地元在住の水彩画家によるぬり絵教室等を実施し、家族連れからご年配の方まで、幅広い年代のお客さまが参加できるイベントとしてご好評いただきました。





～国立市・天下市への参加～

当社は秋に開催する国立市商工会主催の『天下市』に2015年より毎年参加しています。2019年度は『天下市』開催にあわせて nonowa 国立においても当社主催のイベントを2日間にわたって実施しました。国立駅構内の南北通路において鉄道グッズを販売したほか、青梅線沿線の観光協会の皆さまと連携し、檜原村イメージキャラクター「ひのじゃがくん」イベント開催や、観光情報コーナー設置を行い両日とも大変盛況でした。



～受験生への応援メッセージ～

近隣の大学で実施されるセンター試験に挑む受験生に向け、案内図とともに応援メッセージを掲出しました。また、学校の最寄り駅を身近に感じていただけるよう地元の大学、高校、中学の受験日に合わせ、同様に案内図とメッセージを掲出しました。



～唐辛子収穫体験～

当社は2010年度より開催されている武蔵境活性化委員会主催の農業体験イベント「さかいアグリHOT体験 みんなで育てようがらし」の運営をサポートしています。初夏の苗の植付けから秋の収穫まで、地域の皆さまと共に、自然に触れながら、環境や食の大切さを知る活動に取り組んでいます。

～nonowa 近隣の学校との交流・連携～

当社は、nonowa 近隣の学校と連携し、駅での音楽演奏会や駅業務見学会等を開催しました。これらを通じて、学校と地域を結び、地域の皆さまに向けて様々な活動の場を創出しています。



nonowa 国立で学生達による、演奏会が行われました。



nonowa 武蔵境で学生達によるクリスマスキャロルが行われました。



小学生がお仕事見学で来駅しました。



特別支援学校の生徒がつくった商品を生徒自らコンコース等で販売しました。



小学校でのプログラミング教育必須化に合わせ、当社社員が私立小学校の社会科でプログラミングを活用した授業を実施しました。



美術大学の学生が当社の新制服デザインプロジェクトに参画しました。



④ 技術革新への挑戦

～飲食店舗へのロボットの導入～

JR 東日本スタートアップ株式会社と、「JR 東日本スタートアッププログラム 2019」で採択された「調理ロボットサービス」を開発しているコネクテッドロボティクス株式会社が JR 東日本フーズ株式会社（当時：株式会社日本レストランエンタプライズ）と協力し、駅そば自動ロボットによる店舗効率化を目指し、2020 年 3 月 16 日より、そばいち nonowa 東小金井店にて実証実験をおこないました。



⑤ 地域の教育ニーズへの取り組み

～子どもや大人の学びの場の創出～

2018 年よりスタートした直営の子ども向けプログラミング教室「プログラボ」で、これからの時代に求められるプログラミング思考・技術を、2019 年度時点で約 530 名のお子さまに提供しています。

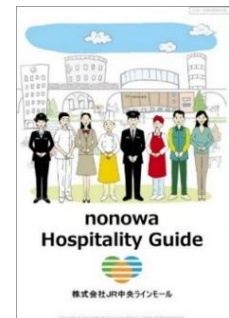
また、コミュニケーション、思考力、農業体験等、豊かな暮らしにつながるワークショップを「nonowa ラボ」で 2019 年より展開し、2019 年度実績で約 50 講座、約 400 名に参加をいただいています。



⑥ 顧客満足への取組み

～nonowa ホスピタリティガイド～

nonowa 全体の接客レベル、お客さまサービス（CS）向上を目指すべく、駅と商業施設で共通のサービス指針として『nonowa ホスピタリティガイド』を作成しました。nonowa ホスピタリティガイドを基にした社員研修や安全サービス委員会を通じたお客さまの声の収集や改善を日々実施し、楽しく魅力的な地域拠点としての駅 SC づくりに取り組んでいます。



⑦ ダイバーシティ経営の実践

幅広い年齢層、性別の違い、多種多様な能力、様々な経験などを背景に、異なる視点や価値観を持った社員が集う事は、当社にとっての強みであり、これらの視点や価値観を互いに理解し、尊重しあうことは、組織活性化の源であるといえます。

当社は、社員ミーティングでの議論、社内セミナーの開催、海外研修などを通して、ダイバーシティ経営を実践しています。



育児休暇に関する社内セミナーを開催。



～学生のまち小金井と高架下 Chuo Line House KOGANEI プロジェクト～

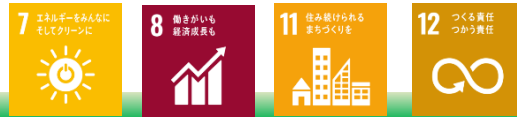
「中央ラインハウス小金井（Chuo Line House KOGANEI）」は、武蔵小金井駅と東小金井駅の間に位置する食事付きデザイナーズ学生専用住宅です。本建物は、全長 350m の敷地に全 109 室を備えています。また、JR 東日本エリアでは初の高架下学生住宅開発となります。

当社がこれまで進めてきた高架下開発同様にまちの東西の回遊を促進する観点から、街の景観を意識し、3 棟の変化のある建物構成としています。



本プロジェクトは、これまで当社が進めてきた高架下開発と異なり、直接的に沿線住民を増やすことができる新しい取り組みです。

入居する学生と地域とのつながりを創るなど、新しい価値を提供することを模索し、当社の掲げる「中央線の沿線価値を総合的に向上する」ことを、目指していきます。



環境

① 環境経営の基本的な考え方について

当社は「nonowa」のロゴが示す武蔵野の「土」その上に育つ「緑」流れる豊かな「水」を守り次世代につなげていくため、環境マネジメント体制を構築し、地球環境問題にも積極的に取り組み、持続可能な社会の実現を目指します。

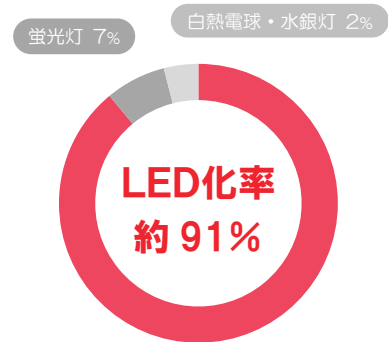
また、この豊かな自然と文化・駅・街をつなぎ「緑×人×街 つながる」中央線沿線の価値向上に貢献します。

② 節電と省エネルギー

～LED照明採用による節電～

消費電力削減のため店舗施設や「ののみち」の照明を、白熱灯・水銀灯・蛍光灯などから消費電力の少ないLED照明に積極的に交換しています。2020年2月現在で、LED化率はおよそ91%となりました。

※LED化実施箇所：2018年9月 nonowa 西国分寺リニューアル



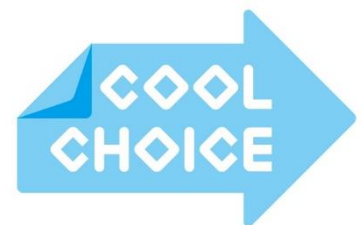
～ペーパーレス会議の導入～

フリーアドレス導入を目的としたオフィス改装（2017年9月）により、社員一人あたりの省スペース化を実施しました。あわせて、会議室へのモニター設置・タブレット端末配備によるペーパーレス会議を導入することで紙資源の使用量を削減しました。



～ビジネスカジュアルの導入～

環境省の施策「COOL CHOICE」に賛同し、試行期間を経たうえでビジネスカジュアルを導入しました。これにより省エネルギーの取組みの意識向上を図るとともに、空調エネルギーの削減から地球温暖化の原因となる温室効果ガスの削減を実施しました。





③ 産業廃棄物・資源循環

当社では、環境負荷の低減と資源の有効利用を図るため、産業廃棄物の発生抑制に関する取り組みやリサイクルを推進しています。産業廃棄物管理票（紙マニフェスト）に代えて、オンラインで産業廃棄物の流れを管理できる仕組みである電子マニフェストを導入しています。また、食品廃棄物削減のため食品リサイクルに取り組んでおり、nonowa 武蔵境、nonowa 東小金井、nonowa 武蔵小金井の生ごみについては食品廃棄物の飼料化処理を行っています。そのほか、グリーン購入ガイドラインを制定し、コピー用紙と事務・文具用品についてグリーン購入を推進しています。

さらに当社では、事業活動に伴い使用・排出される環境負荷を把握し、その低減に努めています。2016年度から2019年度の環境負荷の状況は以下の通りです。

資源使用量/廃棄物排出量の推移

| 資源/廃棄物の種類 | 単位 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 |
|---------------|----------------|--------|--------|--------|--------|
| エネルギー（CO2換算） | t・CO2 | 1,272 | 1,464 | 1,324 | 1,365 |
| （再掲）原油換算 | kl | 659 | 755 | 683 | 703 |
| 水資源 | m ³ | 65,901 | 70,550 | 83,833 | 79,748 |
| 紙資源 | kg | 3,067 | 2,695 | 2,967 | 2,854 |
| （再掲）うち再生紙 | kg | 3,031 | 2,680 | 2,934 | 2,854 |
| 再生紙利用率 | % | 99 | 99 | 99 | 100 |
| 一般廃棄物 | t | 1,001 | 1,095 | 1,088 | 1,091 |
| （再掲）うちリサイクル処理 | t | 519 | 568 | 580 | 593 |
| リサイクル率 | % | 52 | 52 | 53 | 54 |
| 産業廃棄物 | t | 377 | 444 | 366 | 391 |
| （再掲）うちリサイクル処理 | t | 377 | 388 | 364 | 389 |
| リサイクル率 | % | 100 | 87 | 99 | 100 |

| （参考）比較指標 | 単位 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 |
|-------------------|-----|--------|--------|--------|--------|
| 営業収益 | 百万円 | 2,561 | 2,822 | 2,966 | 3,099 |
| エネルギー（CO2換算）/営業収益 | | 0.50 | 0.52 | 0.45 | 0.44 |

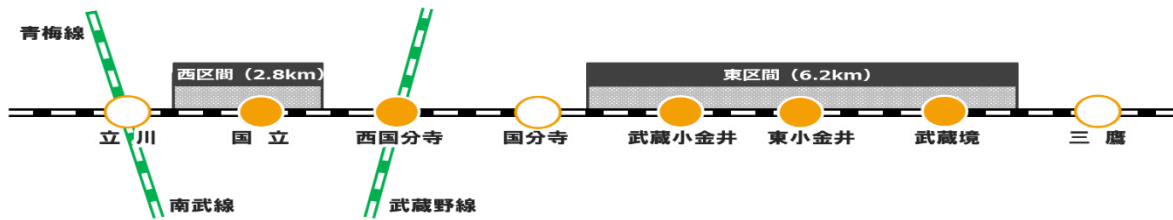
営業収益を生み出すためのエネルギーは減少傾向



④ ののみち整備

～地域の自然・文化を大切にしまちづくり～

当社はJR東日本と共に、中央線 三鷹～立川間の高架下の一部空間に、街の回遊性向上を目的とし、皆さまが快適に歩ける歩行空間「ののみち」の整備を進めております。「武蔵野のみち」にちなんで名付けた「ののみち」。武蔵野の大地をイメージした植栽や地域情報を発信するサイン“ありか”“いつわ”を設置するなど、楽しく歩いていただく工夫をしています。駅間部分は、人が集まり地域の交流が生まれることを期待した広場空間やイベントスペースなどを各所に配置しています。また、シェアサイクル「Suicle」の利用を促進し、地域全体の回遊性向上も目指しています。



Suicle (サイクル)



緑豊かな公園を始め各種文化施設など、中央線沿線には魅力的なスポットが点在しています。訪れた方が地域の魅力を感じながら街を巡ることができるように、JR東日本がシェアサイクル「Suicle」のポートを整備しました（ポート設置場所：武蔵境・東小金井・武蔵小金井・国立の各駅）。当社はその「Suicle」の利用促進を行っています。自転車はCO₂排出がないエコな乗り物として近年注目されていることから、今後も「Suicle」の利用を促進し、地域や環境に優しい街づくりをすすめていきます。

⑤ 植栽・壁面緑化



武蔵野の自然の美しさ、四季が感じられる空間とするため、緑化計画を進めています。「ののみち」沿いの植栽は高架下にあることから、耐陰性の樹種を基調に選定しています。商業施設 nonowa や入居するテナントの壁面緑化にも積極的に取組み、nonowa 武蔵境で実施した壁面緑化については当社が、nonowa 国立で実施した緑化についてはJR東日本が、公益財団法人東京都公園協会が主催する「東京都都市緑化基金助成」を受けて整備しました。

緑化した面積は約 2,100 m²におよび、約 100 種類の植栽が広がっています。また 2018 年 4 月には武蔵小金井駅西部に「ののみち」を整備した「ムサコガーデン」を新たに開業しました。





⑥ ムサコガーデン 東京都多摩産材使用による環境保全への取り組み

ムサコガーデンの大屋根は東京都の多摩産材を使用して作られました。



東京都で過去に植林された森林資源が長期間伐採されないことによる弊害が発生しています。CO₂をたくさん吸収するのは成長する若い木であり、環境を良くしていくには森林資源を循環させていくことが欠かせません。適正に伐採し、植樹するという循環を促進していくことが環境保全につながっていくのです。大屋根の材料に金属ではなく東京都の多摩産材を採用することにより、東京都の森林保全活動に貢献しています。



⑦ ののみち清掃と地域の清掃活動

「ののみち」を綺麗に保ち、沿線にお住いの方々に気持ちよく利用していただくため、2019年度も社員で「ののみち」の一斉清掃を実施しました。一斉清掃では、社員のご家族にもご協力いただきました。

(2019年9月国立駅高架下付近 26名で実施、2020年3月東小金井駅～武蔵境駅間 15名で実施)



～地域の清掃活動～



地域の一員として、地域が主催する清掃活動や自治体等の主催で行われている地域の一日清掃「ごみゼロ運動」に積極的に参加しました。また、会社全体で地域のゴミ拾いを実施するなど、地域社会貢献活動に取り組んでいます。



安全・安心

① 安全・安心への取組みについて

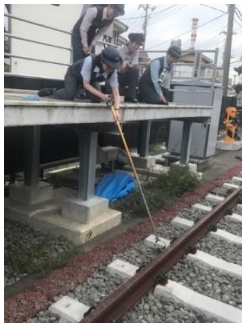
駅と商業施設を一体的に運営する当社では、社員一人ひとりが日頃から高い安全意識とともに、お客さまへのより一層の安全で安心してご利用いただける駅・施設づくりの実現に向けて取り組んでいます。

② 鉄道の安全を確保するために

JR 東日本より駅業務を受託し、駅運営を行う当社において輸送の安全確保は最も重要な使命の一つです。お客さまに安全で安心して駅や列車をご利用いただけるよう、様々な訓練に取り組んでいます。

特に、人身事故発生時の対応には現地責任者の指揮のもと、警察・消防の方々と連携し運転再開に向けた安全かつ速やかな行動が重要となるため、訓練の積み重ねによって対応力の向上に取り組んでいます。

具体的には、JR 東日本八王子支社の訓練設備等を活用する様々な訓練機会を通じて、社員一人ひとりの安全意識の醸成とスキルアップを図っています。



2019年5月 新入社員訓練

(JR 東日本八王子支社営業部訓練施設)

新入社員が拾得器、列車停止ボタン、緊締幕等を学習・訓練



2019年6月 合同現車訓練

(JR 東日本八王子支社三鷹車両センター)

3日間にわたり、異常時対応訓練として緊締幕・ステップラダー等の訓練を実施



2020年2月 人身事故訓練

(JR 東日本八王子支社営業部訓練施設)

2日間にわたり、JR 東日本八王子支社営業部に講師を務めて頂き、人身事故発生時の対応訓練を実施





③ 駅と商業施設の合同防災訓練



駅と商業施設を一体運営する nonowa をお客さまに安全にご利用いただくため、年2回、駅社員と各商業施設スタッフによる合同消防訓練を実施しています。消防署の方に指導役としてお越し頂き、火災に遭遇したときの基本的な行動である「119番の通報訓練」「お客さま誘導訓練」と「消火器の操作訓練」を行いました。全参加者が、消防署の皆さまからのご指導・アドバイスに真摯に耳を傾け、また、実際の火災を想定しつつ真剣に訓練に参加することで、安全意識の醸成につながっています。

④ 小学校や学園での安全教室

通学時安全に駅をご利用頂くため、nonowa 武蔵境の駅社員が近隣の聖徳学園小学校に訪問し、児童を対象とした安全指導を定期的に行いました。電車や駅を利用する際の注意事項やマナー（ホームでは点字ブロックの内側まで下がって待つ、ホームや電車内では走ったりはしゃいだりしない等）について、イラスト・写真付きのスライドを用いて一部クイズ形式を交えるなど、わかりやすく説明し、児童の皆さまに楽しく学んでもらうことを意識しました。



⑤ 駅構内歩きスマホ防止への取組み

スマートフォンの普及によって、「歩きスマホ」が社会問題となっています。駅構内での転倒や人への衝突トラブルに加え、ホーム上で電車に接触するケースも見受けられるなど、大変危険な行為です。



～オリジナル掲示物による告知～

nonowa 国立では、駅構内での歩きスマホ防止への取組みとしてオリジナルの掲示物を作成するなど、「歩きスマホ」の防止に向けた告知に努めました。

～東京電機大学高等学校生徒会とのマナーティッシュ配布～

nonowa 東小金井では東京電機大学高等学校生徒会と連携し、生徒手書きのイラストによる「STOP 歩きスマホ」のメッセージをティッシュに挿入し、朝の通勤通学時間帯に配布し、お客さまに歩きスマホ防止を呼びかけました。配布にあたっては、生徒が構内放送で歩きスマホの危険性を呼びかけるとともに、ティッシュを手渡しする際にも一人ひとりが記憶に残るよう声かけを行いました。





ガバナンス

① コーポレートガバナンスについて

当社は、お客さまおよび地域の皆さまをはじめとするあらゆるステークホルダーに満足いただけるよう、事業の持続的な成長と企業価値の向上を目指します。安全・安心の追求、商業施設（駅間施設を含む）の運営力強化、新規開発や新規事業の展開をはじめとする経営課題に対して、公正かつ透明な意思決定を迅速に行い、経営環境の変化に対応していきます。

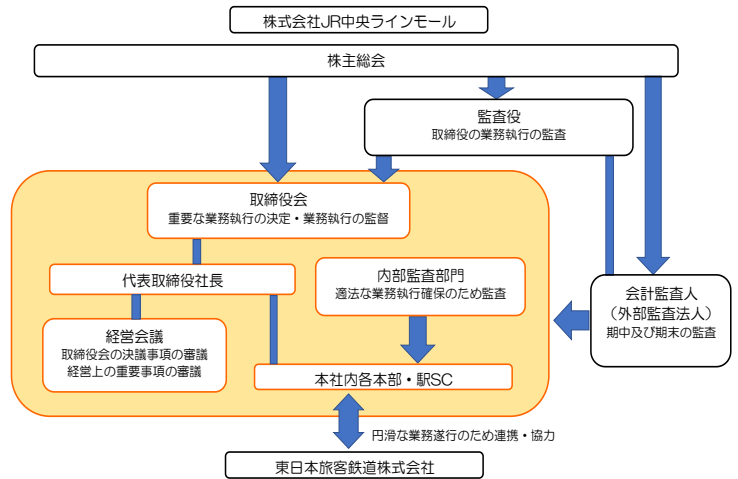
原則として月1回取締役会を開催し、重要な業務執行の決定・監督を行っています。また、原則として月2回経営会議を開催し、取締役会の決議事項やその他経営上の重要事項について審議を行っています。

さらに、内部監査部門が、本社内各本部・駅・商業施設を対象として、適法かつ効率的な業務執行確保のための監査を定期的実施し、その監査結果について、経営トップと情報共有し、課題の解決や不正・誤りの防止に努めています。

監査役は、取締役会への出席などを通して、取締役の業務執行の監査を行っています。会計監査については、有限責任あずさ監査法人（会計監査人）が期中及び期末に監査を行っています。

当社は、円滑な業務遂行に向けて、当社発行済株式の100%を保有している東日本旅客鉄道株式会社と連携・協力していきます。

【コーポレートガバナンスイメージ図】



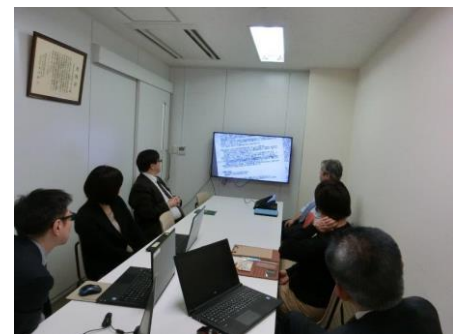
② コンプライアンスについて

当社は「法令遵守・企業倫理」を経営の根幹ととらえ、関係する法令を遵守し、企業倫理に従って事業運営を行っています。

JR 東日本グループ理念に加えて、JR 東日本グループの企業行動指針である「法令遵守及び企業倫理に関する指針」に沿った望ましい行動の在り方が記載された「コンプライアンス・アクションプランハンドブック」を全役員、全社員に配付し、これを教材として、毎年、コンプライアンス研修を実施しています。

当社ウェブサイトでは、当社内に設置した社内のコンプライアンス相談窓口及び社外のコンプライアンス相談窓口である JR 東日本の担当部署を掲載し、法令遵守・企業倫理に違反したまたは違反するおそれのある行為に係る情報の受付方法を示し、取引会社の従業員からの相談等、幅広い対象者から情報を受け付けています。「リスクの未然の防止」と「リスク低減」の取組みを推進するため、各種研修の実施により、駅 SC における異常時対応力の向上を目指すとともに、事件・事故といった不測の事態の発生など「顕在化したリスク」に対しては適切かつ迅速な対応を心がけています。

さらに、研修や日々の気付きや振り返りを通して、安全や人権、リスクマネジメントなどに関する意識の醸成を図る等、コンプライアンス活動の強化、さらなる深度化に向けた取組みを継続していきます。





③ 情報セキュリティ・個人情報の保護について

「JR 東日本グループ情報セキュリティ基本方針」に基づき情報セキュリティ管理体制を構築し、情報システム利用のルールブックを通じて全社員を対象に教育を実施しています。

また、「個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）」をはじめとした関係法令に基づき「個人情報管理規程」を策定し、個人情報管理責任者を設置しています。業務上必要な従業員だけが利用できるよう、アクセス権限管理を実施しています。個人情報の収集取扱い、管理等に関する方針をプライバシーポリシー（個人情報保護方針）として定め、個人情報保護に対する意識向上を図るべく教育を実施しています。



当社では、お知らせやイベント情報などの紹介を、ホームページやフェイスブックページで積極的に発信しています。ぜひご覧ください。



nonowa ホームページ
<http://www.nonowa.co.jp>



公式フェイスブック
nonowa.jp

そのほか、SNS アカウントを通して nonowa の情報を発信中です。



nonowa 公式 Instagram
@chuosuki



株式会社 JR 中央ラインモール
サステナビリティレポート 2020

2020年7月発行
〒184-0004
東京都小金井市本町 1-18-10
小金井本町ビル 5F

<http://www.nonowa.co.jp/>